

令和3年度 事業報告

《 概要 》

令和3年度は前年度に引き続き、社会全体がコロナ禍の影響下にあったと言える。地域の福祉活動においても、垂水区社会福祉協議会(以下「区社協」という)の実施する様々な事業においても、大きな制約の中で展開する1年となった。

また、このなかにあつて少子高齢化や人間関係の希薄化といった社会的な課題は深刻さを増し、こどもの居場所やひとり親世帯への支援など、新たな社会的ニーズの増大が見られ、これらの社会環境の変化は区社協事業の展開にも影響を与えた。

コロナ禍の影響を挙げると、中止した事業としては多くの区民が参加するたるみっこまつりなどのイベントが挙げられる。一方、コロナ禍で増えたものとしては、生活福祉資金の特例貸付やひとり親世帯への食糧支援の事業があつた。また、コロナ禍で実施方法を変えたものとして、ふれあい給食の開催方法や手話など少人数を対象とした連続講座、スマートフォンを活用したつながりづくり講座。そして、新たな社会的ニーズに対応し新規事業として取り組みを始めたものとしては、こどもの居場所づくり事業などを開始した。

これらの事業は、区社協事務局サイドで直接実施する一部のものを除き、垂水区内の地域活動者をはじめとする区民の皆さまが主体となつて進められるものが多く、まさに地域住民主体の福祉活動であり、垂水区民の皆さま自身による活動の成果であつたと言える。

このように令和3年度の区社協運営は、財源を支える共同募金運動や善意銀行の寄付金の受け入れ、区社協事務局として法令の遵守や経営の透明性や公正さの確保など組織統制の強化を含め、全体として時代の変化に対応しながら、適切に進めることができたものとする。

※以下に示す件数等はすべて令和3年度実績です。

1 理事会・評議員会等の開催

- ①第1回理事会(決議省略、議案承認日:令和3年6月9日(水))※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
(議事)令和2年度決算報告・令和2年度事業報告
次期役員(理事及び監事)候補者の評議員会への提出議案
次期評議員選任・解任委員会委員の選任
次期評議員候補者の推薦及び評議員選任・解任委員会の招集
定時評議員会の招集・提出議案
- ②第1回評議員選任・解任委員会(令和3年6月9日(水)開催)
(議事)次期評議員の選任
- ③定時評議員会:(令和3年6月24日(木)開催)
(議事)令和2年度決算報告・令和2年度事業報告
次期役員(理事及び監事)の選任
- ④第2回理事会(令和3年6月24日(木))
(議事)理事長及び副理事長の選定
顧問の委嘱
- ⑤第3回理事会(令和4年3月7日(月))
(議事)令和3年度補正予算(案)
令和4年度児童館の管理運営に関する業務の受託契約(案)
令和4年度事業計画(案)及び予算(案)
令和4年度役員賠償責任保険の加入
評議員会の招集・提出議案

- ⑥第2回評議員会(令和4年3月22日(火))
 (議事)令和3年度補正予算(案)
 令和4年度事業計画(案)及び予算(案)

2 広報・福祉啓発活動の実施

- 1)冊子「垂水区社協お役立ちガイド」の発行(年1回/1,500冊)

【決算額:260千円 財源:市社協補助金】

地域活動への参加方法、区社協が提供する相談、助成、サービス等をB5サイズにまとめた保存版の小冊子を作成し、地域活動者をはじめ関係機関の方々に配布した。

(内容)暮らしの困りごと、高齢者支援、財産管理、障がい者支援、子育て支援、ボランティア活動等

- 2)ホームページの運営 (<http://www.tarumi-csw.or.jp>)とSNSの発信

【決算額:105千円 財源:市社協補助金等】

ホームページで本会の事業紹介、講座・イベント・ボランティア募集、助成金等の情報提供や公式ツイッター、職員ブログ「かんらかんら」の運営を行った。また、「with コロナ」に対応した、多様なネットワークによる新しい地域福祉活動のカタチを目指す取組み「Re³(れれれ)大作戦」について、SNSにより発信した。

- ① ホームページ情報発信および閲覧状況

本会情報発信回数: 152回

ホームページ閲覧者数:延 25,270件(令和2年度 36,063件/前年度比 70.1%)

1ヶ月平均の閲覧: 2,106件(パソコン 38.46%・モバイル 59.51%・タブレット 2.03%)

- ② ツイッター発信回数: 169回

- ③ フェイスブック発信回数: 99回

- ④ ブログ発信回数: 14回

- 3)冊子「#垂水区社協★情報発信!!」の発行(年1回/1,000冊)

【決算額:110千円 財源:市社協補助金・神戸市委託金】

地域活動の先駆的な取り組み等を他地域へ波及させるため先駆的な情報発信を冊子にまとめ、地域活動者等に配布した。また、今年度もコロナ禍で活動を休止せざるを得ない状況の中、感染症対策を工夫しながら再開された団体の活動を掲載することで、現在休止している団体の活動再開のきっかけづくりとした。

(内容)ふれあい給食グループ、高齢者つどいの場、こどもの居場所、地域活動 等

- 4)たるみ福祉フェア 【決算額:15千円 財源:共募】

高齢者・障害者・児童等の福祉の現状を紹介するとともに、地域で互いに助け合うため、また福祉活動への参加のきっかけとして、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため例年より規模を縮小して開催した。

(日時)令和3年10月6日(水)~8日(金)

(場所)垂水区役所1階・2階

(共催)垂水区役所健康福祉課

区分	内容
展示・活動紹介コーナー	赤い羽根共同募金ポスター展、区歯科医師会によるポスター展、区内の児童館・福祉施設・団体などの活動紹介と作品・製品の展示
ふれあいコーナー	バザーの実施(障がい福祉サービス事業所出店)

- 5)たるみっこまつり 開催延期 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

6)ポスタープリンターの利用貸出 【決算額:48 千円 財源:善銀 48 千円(売上額:50 千円)】

地域で行われる各種事業・行事の横断幕やポスターなどを、イメージどおりに手軽にかつ安価に作成し、地域福祉活動推進の一助とすることを目的としてポスタープリンターを設置し利用貸出を行った。
(利用貸出数)3回

7)福祉教育の推進

高齢者疑似体験用具・アイマスク・車いすなどを学校等に貸し出し、福祉教育の推進を図った。

	高齢者疑似体験用具	福祉体験用 車いす	アイマスク	白杖	点字板
保管数	8	7	50	13	40

(貸出実績) 小学校 14 件、中学校 0 件、施設他 1 件 合計:15 件

3 高齢者福祉の推進

1)地域支え合い活動の推進 【決算額:250 千円 財源:市受託金】

民生委員児童委員や友愛訪問ボランティア、あんしんすこやかセンターの地域支え合い推進員等と連携・協働しながら、地域住民による見守りや支え合い活動を進めるためのコミュニティづくりやネットワークづくりを支援した。

(小地域支え合い連絡会への出席) 延 46 回

2)生活支援体制整備事業(協議体の運営) 【決算額:668 千円 財源:市受託金】

本会生活支援コーディネーターを中心に、高齢者の仲間づくりや健康づくり、社会参加の機会の拡大、生活支援の取り組みを進めた。

①高齢者疑似体験会の開催

舞多聞地区で、高齢者の視点に立った地域づくりを考えるきっかけを作るために開催した。

(日 時) 令和 3 年 7 月 24 日(土) 10:30~11:30

(場 所) 舞多聞地域福祉センター

(内 容) サポーターやおもりを用いて、高齢者の体の動きの制限や資格・聴覚の特徴等を体験してもらう

(参加者) 22 名

②つどいの場支援事業

地域住民などによって自主的に運営される、ふれあい喫茶、健康体操などの「つどいの場」29 事業を支援した。また、つどいの場グループを運営しているボランティア団体を対象に「コロナ禍で注意すべきこと」について研修会を開催した。

(日 時)令和 4 年 3 月 3 日(月) 14:00~15:30

(内 容)・令和3年度報告事務および令和4年度の申請事務について
・グループ交流

(参加者) 24 名

3)ひとりぐらし高齢者友愛訪問ボランティア活動への支援

【決算額 5,735 千円 財源:市補助金 4, 515 千円、善銀 1,220 千円】

ひとりぐらし高齢者等へ訪問や電話による見守り活動等を行っているグループに対し、運営費の助成を行った。

(活動実績)

グループ数	対象高齢者数	ボランティア数	活動回数(安否確認)
228	2,590	1,049	424,660

4)ひとりぐらし高齢者ふれあい給食会活動への支援

【決算額 6,110 千円 財源:市補助金 5,390 千円、共募 720 千円】

ひとりぐらし高齢者等の閉じこもり防止やふれあい交流を目的に給食会活動を行っているグループに対し、運営費の助成を行った。

(助成実績)

グループ数	延べ参加高齢者数	延べ参加ボランティア数	延べ実施回数
36	11,308	3,397	339

5)ふれあい給食活動グループへのバス旅行助成

【決算額 90 千円 財源:善銀】

善意銀行助成要綱に基づき、バス旅行を行う給食会活動グループに対し、経費の助成を行った。

(助成実績)

助成金額(円)	助成団体数	計(円)
30,000	1	30,000
60,000	1	60,000
計	2	90,000

6)高齢者見守り調査の実施

【決算額 2,684 千円 財源:市受託金】

見守りが必要な高齢者の状況を把握するために、新たに70歳以上の単身となった高齢者世帯及び75歳以上の高齢者のみとなった世帯に対し、郵送による事前調査の後、民生委員が訪問して緊急連絡先や生活状況の把握に努めた。また、個人情報管理の徹底を改めて依頼し、台帳等保管用ファイルの配布を行った。

(郵送調査の対象世帯数)

新たに70歳以上の単身となった世帯 495 世帯
75歳以上の高齢者のみ世帯 610 世帯

7)たるみおたよりくらの実施

【決算額:42 千円 財源:共募】

ひとりぐらし高齢者・障がい者等の希望者に対し、ボランティアが絵手紙・切り絵など趣向をこらした手作りのカードを製作し、月1回送付した。

(送付希望者数) 平均 100 名

(活動ボランティア数)平均 13 名

※緊急事態宣言や、まん延防止等重点措置発令のため、予定していた全 23 回のうち 12 回中止し、5・6・9・2・3 月はお手本をコピーしたものを郵送した。

8)たるみふれあい電話の実施(テレフォンサポート事業)

【決算額:156,500 千円 財源:市社協補助金】

ひとりぐらし高齢者・虚弱者等に対して、ボランティアが週1回電話をかけ、安否確認、孤立防止、相談等を行った。

(対象者数) 25 名

(ボランティア数) 8 名

9)車いすの貸出し 【決算額:213 千円 財源:共募】

本会事務局および地域福祉センター(23ヶ所)に車いすを配備し、区民に無料で貸出しを行った。

(貸出件数)事務局貸出実績 計 225 件

(貸出期間)当日から最長 60 日間

10)エンディングノート(垂水版)の配布

「今をよりよく自分らしく生きる」ための情報を提供し、地域で安心して暮らし続けたい区民をサポートすることを目的として、善意銀行の金銭預託の払出しを受け作成した、エンディングノートを配布した。

(交付実績) 計 1,250 冊

11)いきいき終活セミナーの開催 【決算額:130 千円 財源:市社協補助金】

もしもの時に備えて、周りの人へのメッセージとして、そして何よりも今をより良く生きるために、エンディングノートの書き方、活用方法についてセミナーを3回開催した。

(日 時) 第1回 令和3年 8月18日(木) 13:30~16:00

第2回 令和3年 12月2日(木) 13:30~16:00

第3回 令和3年 12月3日(金) 13:30~16:00

(場 所) 垂水区役所 大会議室

(講 師) 整理収納アドバイザー 竹裏由佳 氏

(内 容) エンディングノートの書き方

(参加者) 105名

12)介護予防体操のためのプロジェクター支給事業 【決算額:12 千円 財源:善銀】

主に高齢者を対象にしたつどいの場の主催者にプロジェクターを支給し、体操のDVDを利用することで専門の講師がいなくても簡単に介護予防体操ができる活動を促した。

(支給実績) 計 1グループ

13)LINE でつながり講座の開催 【決算額:130 千円 財源:市社協補助金】

コロナ禍において、これまでどおりの対面型の地域活動が制限されることから、神戸学院大学の学生ボランティア5名に協力してもらい、LINEを活用した非接触型のコミュニケーションで、それぞれの地域活動の幅を広げる方法を紹介した。また、希望者には地域へ出向き、出張型での講座を2回実施した。

(日 時) 令和3年 11月30日(火) 10:00~12:00

(場 所) 垂水区役所 2階健康教育室

(講 師) NPO 法人ふおーらいふ 副理事長 矢野良晃 氏

垂水区社協生活支援コーディネーター 里村綾香

神戸学院大学 学生 5名

(内 容) LINEについて

お友達の登録方法、メッセージの送り方、無料通話の方法、グループトークの作り方 等

(参加者) 16名

<出張型>

(主 催) 高丸ふれあいのまちづくり協議会

(日 時) 第1回 令和4年 2月7日(月) 10:00~11:30

第2回 令和4年 2月14日(月) 10:00~11:30

(講 師) 垂水区社協 生活支援コーディネーター 里村綾香 神戸学院大学 学生 5名

(場 所) 高丸地域福祉センター

(内 容) 第1回 スマートフォンについて

第2回 LINEについて

お友達の登録方法、メッセージの送り方、無料通話の方法、グループトークの作り方 等

(参加者) 各6名

4 児童福祉の推進

1) 児童館の運営 【決算額:76,423千円 財源:市社協受託金他】

児童館3施設(愛垂・東垂水・星陵台)及び学童保育コーナー4施設、のびのびひろば1施設の職員雇用、人事管理、職員配置等を行い、館の運営を行った。(※R4.3 ティオ舞子コーナー開設)

社協運営児童館・コーナー利用者数等 ※「月平均」の数値は小数点以下四捨五入

利用者(すべての利用者)数

	月平均	年度合計
愛垂児童館	1,421	17,057
高丸コーナー	1,342	16,109
高丸のびのびひろば	200	3,548
東垂水児童館	1,249	14,933
福田コーナー	1,181	14,177
星陵台児童館	1,425	17,102
東舞子コーナー	1,432	17,194
ティオ舞子コーナー	260	260
合計	8510	100,380
合計(児童館)	4,095	49,092
合計(コーナー)	4,215	47,740
合計(のびのびひろば)	200	3,548

学童保育登録者数

	月平均
愛垂児童館	62
高丸コーナー	67
東垂水児童館	42
福田コーナー	70
星陵台児童館	61
東舞子コーナー	136
ティオ舞子コーナー	14
合計	452

学童保育延長登録者数

	月平均
愛垂児童館	17
高丸コーナー	36
東垂水児童館	23
福田コーナー	27
星陵台児童館	14
東舞子コーナー	33
ティオ舞子コーナー	3
合計	153

学童保育高学年登録者数

	月平均
4年生	50
5年生	26
6年生	4
合計	80

2) 区内児童館のネットワークの強化及び活動支援 【決算額:422千円 財源:市社協受託金他】

他団体運営の児童館を含め、区内15児童館のネットワーク強化と活動支援、地域の子育て支援事業の推進に取り組んだ。

① 訪問・巡回実績 【決算額:105千円 財源:市社協受託金】

内 容	回 数
情報管理・放課後児童クラブ・安全管理指導	32
その他	10
合 計	42

② 指導員研修 【決算額:48 千円 財源:市社協受託金】

日 程	内 容	参加者数
9月15日(水)	児童館事業におけるICTの活用	16
7月16日(金)	密にならない子どもとの遊びや過ごし方	16

③ 放課後児童支援員研修 【決算額:54 千円 財源:市社協受託金】

日 程	内 容	参加者数
11月9日(火)	「行動傾向を知って人間関係のお悩みを減らそう」	41
12月7日(火)	「放課後児童クラブ実践事例研究」	41

④ 区内児童館合同館長会 ※新型コロナウイルス感染症感染症防止のため中止

⑤ 垂水区児童館・学童保育コーナーへのイベント派遣事業 【決算額:115 千円 財源:共募】
垂水区ボランティアセンター等に登録している団体を見守り等講師として派遣し、児童に対しての多彩な活動を支援した。

(派遣実績)

内 容	回数	参加者数
すとりべりーじゃむとあそぼう	4	142
元気！わくわくキッズヨガ	2	35
紙芝居がやってきた	2	112
マジックを楽しもう	5	205
演劇の世界をのぞいてみよう！	1	23
お笑い絵本朗読	2	44
折り紙を使っておたよりを作り	4	158
Let'sDance!!心と体で踊ろう！	3	80
音楽って楽しいね	4	187
合 計	27	986

⑥ 垂水区児童館合同行事 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

⑦ 子ども・子育てサポート事業の実施 【決算額:100 千円 財源:市社協受託金】

(1) 名谷子育てサロン

親子遊びを中心に、あそび・交流を通して子どもと子育て家庭への支援のため、児童館の設置がない地域で「出前児童館」を実施した。

(実施期間・回数) 令和3年7月5日(月)～令和4年1月17日(月)(計4回)

(場 所) 名谷学童保育コーナー

(対 象) 就学前の乳幼児

(参加者) 34 名

(2) 舞多間子育てひろば立ち上げ支援 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

3) 子育て支援事業の実施

① 子育てコミュニティ育成事業の推進 【決算額:182 千円 財源:市社協補助金】

地域の子育てコミュニティ形成を目的に、日曜・祝日に児童館を開放するなどして、様々なイベントや事業を実施していただいた。

(令和3年度実施回数) 延べ17回(3館の合計)

(内 容) 親子体操・グランドゴルフ・自由遊び・工作等

- ② 地域の子育てサークルへの講師派遣事業の実施 【決算額:80 千円 財源:市社協補助金】
区内の子育てサークルの活動を支援するために専門講師等を 15 サークルに派遣した。

(派遣実績)

内 容	回	参加数
すとりべりーじゃむと遊ぼう!	1	29
親子でハッピータイム	3	36
親子で楽しくお片付け	3	42
親子ヨガ 身体を使って コミュニケーション&リラックス	3	37
音楽とあそび! Let's Play リトミック	2	49
合 計	12	193

- ③ 孫育て講座 【決算額:25 千円 財源:市社協補助金】

核家族化の進行等の社会的背景を踏まえ、近い将来孫をもつ予定の方や既に孫を育てておられる方を中心に専門家による講座を開催し、最近の育児情報を提供した。講師は、「孫育ての教科書」の著書である臨床心理士の井上淳子氏。

(日 時) ①令和3年 10 月 19 日(火) 13:30~15:30 乳幼児編

②令和3年 10 月 26 日(火) 13:30~15:30 思春期編

(場 所) 垂水区役所3階

(参加者) ①祖母 2 名

②祖母 3 名 合計 5 名

4)こどもの居場所支援事業の実施

- ① こどもの居場所立ち上げ支援 【決算額 1,020 千円 財源:市補助金 1,020 千円】

地域の住民を中心として構成される団体やNPO団体等に向けて、食事の提供や学習習慣を身につける等を目的としたこどもの居場所活動の立ち上げを提案するとともに、立ち上げまでの支援を行った。

新規立ち上げ団体	令和3年度末時点での活動団体
16	22

- ② 垂水区社会福祉協議会 こどもの居場所づくり支援助成の実施

【決算額 1,000 千円 財源:市補助金 500 千円、共募 300 千円、善銀 200 千円】

こどもの居場所団体の活動を支援し、その活動に要する経費の一部を助成することで、こどもの居場所づくりを推進した。

助成金活用団体:10 団体

- ③ 研修会の開催 【決算額 13 千円 財源:市補助金 13 千円】

新型コロナウイルス感染症拡大の中でも活動を継続している団体に事例発表してもらい、活動意欲を向上してもらおうとともに、横のつながりを作るため交流会を開催した。

(日 時)令和 3 年 12 月 6 日(月)13:30~15:00

(内 容)・コロナ禍でも活動を続けている 2 団体の代表者による事例発表

・交流会 テーマ「感染症対策について」「課題に感じている事」

(参加者) 9 団体 13 名

- ④ 啓発用のぼりの作成 【決算額 113 千円 財源:市補助金 113 千円】

統一感のあるのぼりを作成することにより、団体のモチベーションの向上、地域住民への理解の推進、また、地域の商業高校の学生にデザインを依頼することにより、学生が「こどもの居場

所」に興味を持つきっかけとなるとともに、デザインを通して地域住民に親しみを持ってもらうことを目的にのぼりを作成した。

(作成数) 通常のぼり 50 枚、ミニのぼり 46 枚

(配布数) 通常のぼり 30 枚(県立神戸商業高校含む)

5 障がい者福祉の推進

1) 垂水区地域自立支援協議会の運営参加

障がい者の自立と社会参加の促進を目的に、区内の障がい者福祉施設、教育・行政機関等とともに垂水区地域自立支援協議会の運営に参加した。(運営委員会、就労支援部会、らいぶ等)協議会の活動を通じて、情報発信や各種課題の検討を行った。

2) 障がい者福祉団体への助成 【決算額:220 千円 財源:善銀】

障がい者福祉団体の活動を支援するため、5 団体に対し、善意銀行の助成を行った。

(助成団体数) 5 団体

(助成金額) 44,000 円(1 団体あたり)

3) 障がい者福祉サービス事業所等への支援 【決算額:506 千円 財源:善銀】

区内の障がい福祉サービス事業所等に対し善意銀行から助成を行った。

(助成事業所数) 23 ヶ所

(助成金額) 22,000 円(1 事業所あたり)

また、障がい福祉サービス事業所が自主製品を販売し、働く仲間たちの工費アップを図ることを目的に、毎月1回、区役所 1 階ロビーにおいて「たるみアンテナショップ」を開催した。

(共催:垂水区地域自立支援協議会)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言発令中の 4 月・5 月、1 月・2 月は開催せず。

4) みんなで学ぼう初めての手話講座の開催 【決算額:501 千円 財源:市社協補助金】

手話通訳ボランティア育成の一環として、垂水区聴力言語障害者福祉協会及び手話サークルたるみの協力を得て、初心者向けの手話技術講習及び聴覚障がい者との交流会を開催した。

<昼の部> 令和 3 年 7 月 1 日(木)~2 月 10 日(木)(23 回)10:00~12:00

受講者 20 名 修了者 15 名

<夜の部> 令和 3 年 7 月 1 日(木)~2 月 3 日(木)(23 回)18:30~20:30

受講者 20 名 修了者 12 名

6 ボランティア活動の推進

1) ボランティアセンターの運営

ボランティアセンターでは、ボランティア活動をしたい方(団体・個人)とボランティア活動に来てほしい方(団体・個人)を結びつけるためのコーディネート(連絡調整)、ボランティア同士の交流や情報交換、ボランティア講座の開催などボランティアの育成支援、啓発、相談等を行った。

コロナ禍での活動を支援するため、各区ボランティアコーディネーターの協働により、『コロナ禍でのボランティア活動について』のチラシを作成し、ボランティア・受け入れ施設等の双方に配布した。

また、感染対策をしながら活動しているボランティアの所へ出向き、取材を行い、区社協ホームページで紹介した。

垂水年金会館内に設置するボランティアルームには、ソーシャルディスタンス・常時換気・手指消毒についての注意を掲示、消毒備品を設置し、感染対策を行った上で貸出し、ボランティアの会議、打合せ等の活動を支援した。

※4/25~5/11 は緊急事態宣言発令、12/6~12/10 は年金会館空調設備工事のため、ボランティアルームの貸し出しは中止した。

(運営実績)

ボランティア登録数(令和4年3月末)		ニード申込件数		マッチング数		ボランティア ルーム 利用件数
団体	個人	団体	個人	団体	個人	
242	261	39	32	48	46	382

マッチングの内容 (内訳)	出演 レクリエーション	外出 支援	作業 補助	生活 支援	技能 活用	指導	地域 交流
件数	10	25	25	14	5	0	15

2) ボランティアセンターだより「たるたるハート」の発行 【決算額:235 千円 財源:市社協助成金】

ボランティア活動への理解を深め、活動への参加を促進するため、広報紙を年6回発行し、ボランティア(団体・個人)や地域包括支援センター等に配布した。

(内容)各種講座案内、各種助成金案内、オンラインボランティアまつり、その他等

- ① 第 143 号(令和 3 年 4 月 1 日発行)
- ② 第 144 号(令和 3 年 7 月 1 日発行)
- ③ 第 145 号(令和 3 年 8 月 1 日発行)
- ④ 第 146 号(令和 3 年 11 月 1 日発行)
- ⑤ 第 147 号(令和 3 年 12 月 1 日発行)
- ⑥ 第 148 号(令和 4 年 3 月 1 日発行)

3) いかなご倶楽部(居場所事業)の開催 【決算額:31 千円 財源:市社協助成金】

活動の紹介が難しいボランティアさんなどを対象に、活動場所の提供と引きこもり防止などを目的のひとつとして、定期的に開催した。

(内容) 封入作業・共同募金関係などの軽作業。

(開催数) 7 回(6.7.10.11.12.2.3 月)

※4.5.8.9.1 月は、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置のため中止

(延べ参加者数) 31 名

4) 講座・交流会等の開催

① みんなで学ぼう初めての手話講座の開催 5-4)再掲

② 学校ボランティア養成講座の開催 【決算額:100 千円 財源:市社協補助金】

小中学校で支援を必要としている子どもたちの障がいについて学び、特別支援学級等で学習の見守りや付き添いをサポートするための知識・理解を深めるために開催し、受講後は活動につながっている。

1 日目 「学校でのボランティアについて」

(日 時) 令和3年 11 月 5 日(金)13:30~16:00

(講 師) motto ひょうご 事務局長 栗木剛 氏

2 日目 区内小学校特別支援学級での 見学・体験

(日 時) 令和3年11月8日(月)~18 日(木)のうち、1 日

3 日目 「子どもに寄り添った支援について」

(日 時) 令和3年 11 月 19 日(金)13:30~16:00

(講 師) 神戸市教育人材センター センター長 柳本 太三 氏

(延べ参加者) 60 名

③ 学校ボランティアミーティング

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

④ボランティアスキルアップ講座「SDGs を体験しよう！」の開催

【決算額:32 千円 財源:市社協補助金】

「持続可能な開発目標」と訳され世界中で取り組まれている SDGs について、ゲームを体験しながら学び、日々のボランティア活動での SDGs の取り組みについて一緒に考える機会とするため、ボランティアと学生の異年齢層の意見交換の場として開催した。

(日 時) 令和3年7月 14 日(水)13:30~15:00

(場 所) 垂水区役所 3階 302・303

(講 師) NPO 法人ふおーらいふ 副理事長 矢野良晃 氏
(2030 SDGs 公認ファシリテーター)

(参加者) 21 名(登録ボランティア)

⑤ボランティアスキルアップ講座「VO 活動に役立つスマホ活用術」の開催

【決算額:34 千円 財源:市社協補助金】

「ボランティアセンターからの情報発信をメールで」とボランティアに案内したところ、スマートフォンに不慣れな人が多いことが分かり、情報を確実に伝えボランティア活動につなげるため、「スマホに慣れる・ボランティア活動に使える情報を得る」を目的とした講座を開催した。

(日 時) 令和4年3月 17 日(水)14:30~15:30

(場 所) 垂水区役所 3階 302・303

(講 師) NPO 法人ふおーらいふ 副理事長 矢野良晃 氏

(参加者) 36 名(登録ボランティア)

⑥「オンライン ボランティアまつり」の開催

活動の機会が減り、活動を披露する場も減っているボランティアに、区社協ホームページに活動を動画で紹介するコーナーを作り、多くの区民に見てもらおうと、活動の励みにしてもらおうため、開催方法をオンライン形式に変えて開催した。

(公開日)令和3年 11 月 1 日~

(参加) 17 グループ

⑦「ボランティア The 談会」の開催 【決算額: 15 千円 財源:市社協補助金】

ボランティアセンターに登録する団体・個人等の情報交換のため開催した。The談会の中で、ボランティアスキルアップ講座を 2 回、「オンラインボランティアまつり」をみんなで見える会、新年交流会を開催した。

(日 時) 4 回(7・11・1・3 月 午後)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5・9 月は中止

(場 所) 垂水区役所大会議室又は 302・303

(延べ参加者)119 名

⑧「たるみっこまつり」への参加 2-5)参照 開催延期 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

⑨「垂水区民スポーツの日」 【決算額: 5 千円 財源:共募】

(日時) 令和3年 11 月 6 日(土) 10:00~15:00(9:30 集合)

(内容) ボランティアにより、スランプラリーのブース「障害物競争」を運営

(参加者)21 名 (ボラセンブース 13 名・まちづくり課ブース 8 名)

5)ボランティア活動への助成

ボランティア活動を支援するため、ひょうごボランティア基金の県民ボランティア活動助成、および神戸市社会福祉協議会ボランティア基金ボランティアグループ活動助成の受付を行った

(助成等実績)

	エントリー受付	申請受付
県民ボランティア活動助成	83 件	61 件(1,830,000 円)
市社協活動助成	—	45 件(720,000 円)

6) 災害ボランティアセンター運営のための啓発活動 【決算額 32 千円 財源:市社協補助金】

県立舞子高校環境防災科3年生を対象に、災害ボランティアセンター運営のための講座を実施した。災害支援の現状や現場でのボランティアの役割について学び、災害ボランティアセンターの運営について学ぶ機会となった。また、「リソースカード」を使用し、テーマに基づいて、生徒自身で考えてもらう時間を設けた。

(日 時) 令和3年 12 月 16 日(木)8:55~11:45

(講 師) 垂水区社会福祉協議会 協働コーディネーター 矢野良晃

(参加者) 生徒 36 名

7) KOBE シニア元気ポイント事業の協力 【決算額 0 千円 財源:市社協補助金】

KOBE シニア元気ポイントの説明会で、「活動の心構え」について説明をした。

(日 時) 令和3年 4 月 1 日(木)・6 月 14 日(月)・8 月 26 日(木)・10 月 1 日(金)・
12 月 7 日(火)・令和4年 1 月 7 日(金)・2 月 4 日(金)・3 月 31 日(木)

(延べ参加者) 60 名

7 地域福祉の推進

1) 共同募金・歳末たすけあい募金運動の推進

赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金の運動に協力するとともに、共同募金を財源とした福祉啓発事業や民間福祉活動等への助成を行った。また、期間拡大運動では兵庫県立神戸商業高校の生徒の協力のもと、たるみ観光大使「ごしまろ」を使用した「ごしまろ缶バッジ・マグネット」を活用した募金活動を行った。兵庫県立神戸商業高校生徒に対しては、共同募金について授業を行った。

(日 時) 令和3年 10 月 14 日(木)

(場 所) 兵庫県立神戸商業高等学校

(内 容) 「赤い羽根共同募金て何だろう」 垂水区共同募金委員会(垂水区社会福祉協議会)

障害者事業所 NPO 法人こぐまくらぶの協力により、垂水区初の障害者事業所製品を活用した募金百貨店プロジェクトを実施し、共同募金の啓発を推進した。また、期間拡大募金では、昨年に引き続き地元企業、株式会社レーブドゥシェフ様協力のもと、募金百貨店プロジェクトに取り組み、募金促進を図った。

① 令和3年度募金実績

- a. 赤い羽根共同募金(10 月~3 月) 7,298,667 円
- b. 歳末たすけあい募金 2,163,000 円(a. の一部 うち繰越 2,064 円)
- c. 赤い羽根共同募金(1 月~3 月期間拡大分) 434,393 円(a. の一部)

② 令和3年度配分実績

- a. 赤い羽根共同募金 計 2,251,252 円

(令和2年年度共同募金実績が令和3年度事業費となる)

配分対象活動	対象団体数	配分額(円)	配分先
高齢者福祉活動費	37	801,336	給食会、おたよりくらぶ
障がい者(児)福祉活動費	1	10,000	発達障がい児支援事業
児童・青少年福祉活動費	13	445,876	児童館・コーナーイベント派遣事業、講師費用 こどもの居場所立上げ助成

ボランティア活動費	1	84,258	情報誌発行
たるみ応援ハートブリッジ助成 (公募助成) ボランティア活動費	9	488,000	舞子地区ささえあい実行委員会 Salt of the Earth 一般社団法人ある MaMa けあ 垂水おもちゃ箱 特定非営利活動法人ワトワーズ多聞台 ワンコイン広場 ひまわりの夢企画 五色山2丁目南自治会 神和台エコー
地域福祉推進活動費	25	421,782	ひきこもりの方の家族の居場所支援 終活相談行使謝金 貸出用車椅子の整備
合計	86	2,251,252	

b. 歳末たすけあい募金 計 2,163,000 円(令和3年度募金が令和3年度事業費となる)

配分対象活動	対象地区数	配分額(円)	配分先
地区住民交流事業	19 地区	2,160,936	地区民児協

③明日に架ける「たるみ応援ハートブリッジ助成」の実施【決算額：1,279千円 財源：共募、善銀】

赤い羽根共同募金配分金と善意銀行預託金を財源に、区内の地域福祉を推進する団体を公募し、助成した。助成金額上限 300,000 円の一般助成枠と上限 100,000 円でプレゼンテーション不要の小規模助成枠を設けている。

(一般助成実績)

助成団体・施設	申請額(円)	助成決定額(円)	助成対象事業
舞子地区ささえあい 実行委員会	300,000	300,000	高齢者見守り 事業
Salt of the Earth	210,000	210,000	子ども食堂・学習支援 事業
一般社団法人 ある MaMa けあ	300,000	260,000	親子でふれあいアロマ 事業
垂水おもちゃ箱	176,000	176,000	「垂水ウオーク(仮称)」 事業
特定非営利活動法人 ワトワーズ多聞台	300,000	150,000	蝶が舞い飛ぶ人と自然がつながる 賑わいの公園づくり 事業
5 団体・施設 計	1,286,000	1,096,000	

(小規模助成実績)

助成団体・施設	申請額(円)	助成決定額(円)	助成対象事業
ワンコイン広場	70,000	8,000	拠り所“ワンコイン広場” 事業
ひまわりの夢企画	45,000	45,000	垂水区平磯緑地ひまわり育成 事業
五色山2丁目南自治会	80,000	80,000	災害発生時の緊急一次避難所における 停電対策 事業
東舞子青松会	100,000	50,000	地域の高齢者福祉向上及びふれあい 事業
4 団体・施設 計	295,000	183,000	

④ 啓発ポスター展

共同募金への理解を深めてもらうため、垂水区内の小学生・中学生を対象にポスターを募集し、展示した。

(期 間)令和3年 10 月6日(水)～8日(金)

(場 所)垂水区役所1階ロビー北側

(応募総数)小学生の部 21点 / 中学生の部 46点

2)地域福祉ネットワーク事業 【決算額:1,450 千円 財源:市社協補助金】

地域福祉ネットワークを中心に、生活困窮者や制度の狭間など既存のサービスでは解決できない課題の解決に向けて、専門機関と連携して取り組んだ。また、地域に共通する課題については、解決に向けた仕組みづくりにも取り組んだ。また、生活福祉資金特例貸付の相談受付時、生活福祉資金相談員と連携し、世帯支援を行った。

1)個別支援の実績

①くらし支援窓口などの関係機関との連携

くらし支援窓口などの関係機関との連携し、生活困窮や社会的孤立などの課題を抱えた方々への個別支援を行った。

新規相談 58 件 課題への支援 延べ 742 回

②生活困窮世帯に対し食糧を提供。

支援先 18 世帯

(個別支援の代表的な事例)

・特別支援学校より、スクールソーシャルワーカー経由で、相談があった母子世帯

生活保護を受けておらず、こどもの手当のみで生活している。エアコンがない、食費もなんとかギリギリと、担当が聴き取り、生活保護につなごうとしたが拒否。高3の子どもが自立すれば、生活費も減っていく。これからのことも考えながら、学校外とのつながりの中で、社協につながってもらいたい。夏休みの給食代替として、食糧支援を行い、家庭の様子を把握。学校とも連携しながら、支援していく。

・民生委員経由で、「お金がなくなり、免許返納するため、職も住居もなくなる」と相談があった

80 歳高齢男性

「お金を貸してほしい」と民生委員に相談されたが、重複課題がありそうだと社協へつないでくださる。住込みで働いていたため、就労と住居を一度になくしてしまうが、高齢のため、一般住宅では生活困難になる可能性があり、圏域のあんしんすこやかセンターと連携、介護保険・身元引受のための成年後見制度等、転居に向けた準備を行っている。

・長女が通う小学校より、スクールソーシャルワーカー経由で、相談があった母子世帯

2 年前に相談があり、くらし支援窓口・家計相談と連携し、一旦終了とした世帯が、中3長男の高校受験のため、進学にかかる費用と、コロナの影響で就労収入が減ったため、再度相談に来会。くらし支援窓口・家計相談と連携し、生活の安定と高校進学に向けての準備を進める。

2)地域課題支援の実績

①ベルデ名谷子どもの居場所事業への支援

「まん延防止等重点措置実施期間」のため、ベルデ名谷住宅内の拠点屋外にて、夏休み子どもの居場所事業をベルデ名谷子ども会が実施した。区社協は後方支援を行った(大雨警報のため、景品のみ配布)

事業名	月 日	内 容	参加人数
夏休み子どもの居場所 「ミニ縁日」	8 月 17 日(火)	ミニ縁日 (大雨警報のため中止 景品配布のみ実施)	23 名(保護者 6 名)

②ほっとかへんネットたるみへの参画

「ほっとかへんネットたるみ(垂水区社会福祉法人連絡協議会)」に参画し、ベルデ名谷でのふれあい喫茶などの地域貢献活動に取り組んだ。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、活動が制限される中、今までの活動が停滞しないよう、会議の開催方法を工夫したり、今後の活動の在り方について区内社会福祉法人で共有を図った。

	回数	内 容
役員会	12回	定例会（月1回開催、内オンライン2回）
全体会	2回	5月 オンライン 地区別情報交換(市内のコロナウイルス感染状況について)
		3月 オンライン 令和3年度決算見込み、令和4年度事業計画・予算案
実務者会	3回	7月 オンライン 研修 「福祉何でも相談員研修」
		9月 オンライン 研修・『なぜ「社会福祉法人連絡協議会」を立ち上げたかを知ろう!』
		11月 オンライン 研修 「BCP研修」
その他	4回	「福祉なんでも相談+ワクチン接種予約お助け隊ランチ」コラボ企画 5月12日(水)・6月9日(水)北舞子第3住宅集会所 5月15日(土) 本多聞地域福祉センター・ベルデ名谷地域交流拠点

③「ひきこもりの方の家族の居場所」を開設(令和2年12月より、非公開で実施)

カフェ「iijo(いいよ)」を貸し切り、専門職がスタッフとして運営。令和2年12月より、ひきこもり家族の居場所づくり支援を実施している。カフェの雰囲気を活かし、話しやすい雰囲気づくりを行い、家族の相談支援を行っている。

日時:毎週木曜日 10時30分～12時

会場:カフェ「iijo(いいよ)」(社会福祉法人すいせい・就労継続B型施設)

(開設実績)

日 時	参加者	内 容	参加人数
4月8日(木)	家族	お話し「就労支援の実際」について	2名
7月8日(木)	家族	※大雨警報のため会は中止 はじめて参加の方 「就労支援の実際」について	1名
8月5日(木)	家族	お話し「ひきこもりと医療」について	1名
10月14日(木)	家族	お話し「障害年金」について	2名
11月11日(木)	家族	レクリエーション「つぼ講座」	1名
12月9日(木)	家族	個別相談会	1名
1月13日(木)	家族	個別相談会	1名
2月10日(木)	家族	個別相談会	0名
3月10日(木)	家族・当事者	個別相談会・ レクリエーション「つぼ講座」	2名

④社会保障プログラムの実施

中学生が社会保障に関心を持つきっかけを作り、将来にわたって社会保障にまつわる不利益を受けることがないように社会の支え合いのしくみや困った時の相談先を知り、将来の生活困窮を予防することを目指し、フリースクールに通う中学生を対象に実施した。

日 時	実施場所	対象者	参加人数
8月24日(火)	NPO 法人ふおーらいふ	フリースクールに通う生徒	2名

⑤コロナ禍緊急食料支援

新型コロナウイルス感染拡大によって社会活動が停滞し、多くの人々が日常生活に深刻な影響を受け、福祉的課題を抱える人々も増加、その課題も複合化していると推測されるが、十分に把握されず潜在化している。こうした状況を受けて市内社会福祉施設の職員有志が募金を行い、神戸市社会福祉協議会への寄付金を受け、福祉的課題を抱えるひとり親家庭に、「コロナ禍緊急食糧支援」を行った。

- 第1回 4月15日 76世帯
- 第2回 7月14日 176世帯
- 第3回 12月24日 192世帯

⑥他部署との連携

「要援護子育て世帯への見守り事業」を実施

垂水区子育て支援室と連携し、虐待等で注意が必要な要援護世帯に対し、食品提供を通じて小中学校の長期休業中の見守り訪問を行った。

- (夏休み) 8月2日～4日訪問 7世帯
- (春休み) 3月30日訪問 2世帯

3) 善意銀行の運営

広く区民から善意の金品の預託を受け、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりに寄与することを目的として、社会福祉団体や施設、地域福祉活動グループ等へ払出を行った。

(預託・払出実績)

	預託		払出	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
金 銭	40	568,757	42	2,162,080
物 品	24	—	21	—

(払出・助成実績)

① 金田基金による助成

故金田恵三氏の遺贈により創設された基金を財源に、以下の活動に助成した。

助成対象活動	対象数	助成額(円)	先
高 齢 者 福 祉 活 動	232 団体	1,198,500	友愛訪問ボランティアグループ 給食サービスグループ
発 達 障 が い 児 支 援 助 成	1 団体	50,000	NPO 法人ふおーらいふ
本 会 事 業 に 対 す る 払 出	—	386,872	ポスタープリンター貸出事業 子どもの居場所立上げ支援助成 介護予防のためのプロジェクト支給事業 地域福祉推進助成
計		1,635,372	

※たるみっこまつり出店助成・里親支援助成・視覚障がい者助成 については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業が延期・中止となったため、助成せず。

② ハートブリッジ基金(北川基金)による助成

北川基金をもとに、区内の地域福祉推進のため、本会へ企画提案される事業(活動)に対して助成(たるみ応援ハートブリッジ助成)した。

4 団体 500,000 円

③ 土井・上野基金による助成

元垂水区連合婦人会会長の故土井芳子氏と、元垂水地区青少年育成協議会会長の上野義夫氏から預託を受けた寄付金で創設された基金をもとに、区内の青少年育成のため、本会へ企画提案される事業(活動)に対して助成(たるみ応援ハートブリッジ助成)した。

2 団体 163,000 円

④山内基金による助成

故山内日佐子氏の遺産により創設された山内基金を財源として、故人の遺志を尊重し、区内の地域福祉推進に関する事業や活動に対して助成をした。

助成対象活動	対象数	助成額(円)	配分先
地域福祉活動立ち上げ支援助成	4 団体	136,080	区内団体(構成員 3 名以上)
共同募金運動推進団体助成	1 団体	400,000	垂水区共同募金委員会
計		536,080	

⑤単年度実績助成

区内の自助団体、障害福祉サービス事業所、青少年育成団体に対し、善意銀行への預託実績に基づき、比例按分した額を助成した。

助成対象	対象数	助成額(円)	配分先
当事者団体	6 団体	258,000	障害者自助団体他
障がい者福祉サービス事業所	20 施設	420,000	就労継続支援 B 型事業所他
青少年団体	1 団体	10,000	青少年健全育成団体
計		688,000	

⑥指定預託の払出

匿名の預託者が区内の寄付先を指定したものについては、これを尊重し、寄付先に払出を実施した。

助成対象	対象数	払出金額	配分先
区内児童福祉施設	15施設	300,000 円	区内児童館
計		300,000 円	

4)民生委員児童委員協議会活動(正副会長研修)への支援

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のための事業中止による

5)日本語教室の運営 【決算額 164 円 財源:市社協補助金他】

中国帰国者が多く在住する垂水区神陵台地区の地域福祉振興を図るため、神陵台ふれあいのまちづくり協議会に運営助成し「日本語教室」を毎週土曜日に開催した。

(開催回数) 13 回

(会 場) 神陵台地域福祉センター

(参加者) 150 名

8 相談・援助事業

1)心配ごと相談所の運営 【決算額:103 千円 財源:市社協補助金】

昭和 45 年から区民のよろず相談の窓口として開設している。令和 3 年度の開設日数は 98 日で、運営状況は下記のとおり。相談者は、女性が約 7 割以上を占める。相談内容は家族、高齢者福祉、財産に関するものが多くみられた。また、相談内容によっては、当会ネットワークカーへ繋いだり、他 関係機関を紹介するケースなど、解決に向けて助言を行った。

(日 時) 毎週火・金曜日、13:00~15:30(昭和 54 年 7 月から週 2 回開設)

(場 所) 垂水区社会福祉協議会内相談室

(相談員) 民生委員・児童委員、保護司など 18 名

① 相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年計
件数	5	0	2	8	5	0	8	6	2	7	5	10	58

※新型コロナウイルス感染症感染拡大による緊急事態宣言発令中の4/27～6/18、8/24～9/28は相談員による相談は中止した。

② 相談内容

相談内容	件数	相談内容	件数
生計	1	財産	7
年金	0	事故	0
職業・生業	0	障がい者(児)福祉	2
住宅	6	教育・青少年	0
家族	15	児童福祉・母子保健	0
結婚	1	母子・父子福祉	0
離婚	4	高齢者福祉	8
健康・保健・衛生	3	苦情	3
医療	1	地域福祉権利擁護	1
人権・法律	4	その他	2

③相談員研修会

(日 時) 令和3年10月4日(月)13:30～15:40

(テーマ) 「傾聴スキルを高める」～相談援助面接とは何かを考える～

(講師) 兵庫県対人援助研究所 主宰 稲松 真人 氏

(参加者) 18名

2)成年後見制度事前相談室の運営協力

神戸市成年後見支援センターが実施する「成年後見制度事前相談室」の開設、運営に協力した。
(平成25年9月開設)

(日 時) 第2・4水曜日 13:30～15:30

(場 所) 垂水区社会福祉協議会内相談室

(相談員) 市民後見人養成研修を修了した市民後見人候補者

(相談件数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年計
件数	2	0	0	2	1	0	1	2	2	4	3	3	20

※新型コロナウイルス感染症感染拡大による緊急事態宣言発令中の4/25～6/20及び8/20～9/30は市民後見人による対面相談は中止。成年後見支援センターによる電話相談を実施。

3)元気なうちの税務相談～終活・相続・遺贈寄付～ 【決算額:123千円 財源:市社協補助金】

エンディングノートや相続、遺贈寄付等に関心が高まっているため、平成29年8月より税理士による終活相談窓口(要予約)を開設した。

(日 時) 原則第3水曜日、13:30～15:30(お1人約30分程度 先着4名迄)

(場 所) 垂水区社会福祉協議会相談室、(相談員) 税理士 浜口 祐介氏

(相談件数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年計
件数	4	-	-	6	4	-	3	3	4	3	3	3	33

※5月、6月、9月は、緊急事態宣言発令により中止し、7月には振替えて2回実施

4)生活福祉資金貸付

低所得、障がい者世帯等の経済的な自立、在宅福祉の推進、社会参加の促進を図り、地域社会での安定した生活を支援するため、生活福祉資金貸付の相談・受付を行った。

(貸付決定実績)

資金の種類		件数	貸付決定
			金額(円)
福祉資金(福祉費)	一時的に必要な経費	0	0
	エアコン・冷蔵庫購入費	4	183,000
	転宅費	0	0
教育支援資金	教育支援費	19	23,983,000
	就学支度費	24	10,225,000
総合支援資金(通常分)		0	0
緊急小口資金(通常分)		1	20,000
合 計		48	34,411,000

②新型コロナウイルス特例貸付

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯に対し、貸付対象、据置・償還期間など、通常の貸付要件を大幅に緩和して、緊急小口資金・総合支援資金(新型コロナウイルス特例貸付)の相談・受付を行った。

(令和2年3月25日より受付開始～令和4年8月末まで申請受付)

コロナ禍で経済活動の低迷が長期化する中、失業された方の就労に向けた支援を含め、適切な相談支援が講じられるよう、自立相談支援機関(くらし支援窓口)との連携・つなぎを積極的に進めた。

(令和3年4月1日～令和4年3月31日借入申込件数/垂水区社協受付分)

資金の種類	件数(件)	申請金額(円)
緊急小口資金	432	82,940,000
総合支援資金	382	202,720,000